

平成20年6月20日

平成20年岩手・宮城内陸地震山地災害合同現地調査の実施について

1 調査目的

平成20年岩手・宮城内陸地震によって発生した山腹崩壊、地すべりの発生メカニズムや下流保全対象への影響等を踏まえた復旧対策（応急対策を含む）を検討するため、学識経験者等による現地調査を林野庁、岩手県及び宮城県が合同で実施します。

2 調査時期・期間

平成20年6月20日（金）～22日（日）

3 調査参加者

井良沢道也（岩手大学農学部准教授）

千葉 則行（東北工業大学工学部准教授）

宮城 豊彦（東北学院大学教養学部教授）

石川 芳治（東京農工大学共生科学技術研究部教授）

松浦 純生（森林総合研究所水土保全領域長）

大丸 裕武（森林総合研究所山地災害研究室長）

浅野 志穂（森林総合研究所九州支所山地防災研究G長）

黒川 潮（森林総合研究所山地災害研究室主任研究員）

岡田 康彦（森林総合研究所治山研究室研究員）

このほか、林野庁、東北森林管理局、岩手県、宮城県の担当者が参加

4 調査予定箇所

（宮城県栗原市）

- ・ 荒砥沢ダム上流地すべり
- ・ 栗駒山土石流（山腹崩壊、駒ノ湯温泉上流荒廃溪流）
- ・ 耕英地区地すべり
- ・ 花山湖上流山腹崩壊

（岩手県奥州市、一関市）

- ・ 磐井川沿い河道閉塞、山腹崩壊

※現地での被害状況により、箇所の変更がありうる。

5 問い合わせ先

東北森林管理局企画調整室

企画調整室長 三重野

TEL:018-836-2270

FAX:018-836-2031